



新美南吉生誕100年通信

NIIMI NANKICHI 100th Anniversary Year

新美南吉さん、100歳おめでとう

発行 新美南吉生誕 100 年記念事業実行委員会 〒 475-0966 愛知県半田市岩滑西町 1-10-1 新美南吉記念館内



2



3



平成 25 年の一年間を通して行われてきた新美南吉生誕百年を祝う記念行事。その締めくくりとなる生誕百年フィナーレ「夢つなぐ」が 12 月 21 日（土）、南吉の母校の半田市立岩滑小学校と新美南吉記念館で開催されました。

南吉は中学生時代の日記に「今から何百何千年後でも、若し余の作品が、認められるなら、余は、其処に再び生きる事が出来る」と昭和 4 年 3 月 2 日」と記しています。自らの作品が時代を超えて多くの人に読み継がれていくことは彼の夢でした。フィナーレのテーマ「夢つなぐ」には、生誕百年が終わった後も南吉作品に親しみ、その魅力をふるさと半田から発信し続けよう、という思いが込められています。

生誕100年フィナーレ ～夢つなぐ～

- 1 岩滑小学校 1 年生が演じる劇「がちょうのたんじょうび」
- 2 「南吉さん、わっしょい！」岩滑こども園の子ども山車
- 3 ランプの灯りに囲まれて、参加者全員で詩「明日」を合唱



岩滑小学校体育館で行われた第一部では、市内の園児から小中学生、高校生、そして大人まで幅広い世代が出演し、劇や朗読、合唱などで南吉の世界を表現しました。演目の間には、童話「ひとつの火」にちなんで、出演者が提灯を受け渡していく提灯リレーも行われました。提灯に灯された火を南吉の夢になぞらえ、皆でつないでいこう、という趣向です。

第一部の後半は、元 NHK アナウンサーの山根基世さんによる講演が行われました。昨年 7 月に雁宿ホールで行われた「ことばの杜朗読会」では、市内全小学校から選ばれた 26 人の児童たちが市民と共に出演しましたが、上演に向けたワ



クシヨップを半年間にわたり指導してくださったのが山根さんでした。子どもの言葉を育てる活動を通して、子どもたちに自分らしい人生を切り開いていく力を持つてもらいたい、と願う山根さんにとっても、半年間のワークシヨップは夢の実現に向けた第一歩だったそうです。

山根さんは講演の冒頭で南吉の絶筆「天狗」を朗読。南吉はこの作品を通じて夢を持つ力、夢が叶うと信じる力の大切さを伝えたかったのではないかと指摘されました。そして、南吉の夢は、作品が読まれることで人々を幸せにしたい、社会を良くしたいということであり、私もその夢をつないでいきたい、と半田での体験に重ねながら語られました（左写真）。

こうして約八百人が参加した第一部は、園児から高校生までによる「夢つなが宣言」で終了。参加者の一部は、提灯行列をしながら第二部会場の新美南吉記念館へ移動しました。

日も暮れかかったその頃、記念館の広場には約七百人の人たちが集まっていました。提灯行列が到着すると、ハンドベルが演奏されるなか、ステージに組まれた献灯台へ次々とランプやキャンドルが置かれ、辺りは幻想的な雰囲気になりました。山根さんが「おじいさんのランプ」の一節を朗読し、半田市合唱協会と会場の参加者全員で南吉の詩「明日」を合唱。最後は市長や来賓の「夢つながメッセージ」と生誕百年記念事業実行委員会の新美委員長による閉幕宣言で締めくくられました。

年末の寒い一日でしたが、大勢の南吉ファンや市民が集い、これからも童話「ひとつの火」のように、南吉が灯した夢の灯を受け継ぎ、広めていきたい、と誓い合ったファイナールでした。

第一部 岩滑小学校体育館

- ①園児から高校生までによる「夢つなが宣言」
- ②詩「明日」の合唱。半田中学校合唱部の澄んだ歌声が響く。
- ③雁宿小学校1・2年生が演じる音楽劇「手ぶくろを買いに」
- ④司会の半田高校放送部員と山根基世さんのトーク。
- ⑤読書感想画入選作品の紹介。この他にも読書感想文や「日中韓子ども童話交流事業」の紹介も。

昼のイベント

- ⑥新美南吉記念館では昼間のイベントも行いました。南吉の恩師・巽聖歌を偲んで、童謡「たきび」を歌いながら焼き芋をバクリ。

第二部 新美南吉記念館

- ⑦温かい「どんちゃんうどん」の振る舞いは700食完食！
- ⑧半田ベルフラワーのハンドベル演奏のなか、童話「狐」にも登場する神子さんが献灯。
- ⑨せせらぎ治いに並べられた幻想的な行灯「ほんのりん」（協力：ルート21）





ふりかえる、新美南吉生誕100年 ～初めての南吉、再び出逢う南吉～

⑥ 南吉が学生時代に暮らしていた東京中野で開催した生誕百年記念フォーラム「わたしが会った新美南吉」新美南吉の会・生誕百年記念事業実行委員会（1月30日 中野サンプラザ）

⑤ 「新美南吉生誕百年 どんぎつねの世界展」毎日新聞社・半田市他（平成24年12月26日～1月7日 JR名古屋タカシマヤ）

④ 生誕百年を言祝ぐ板山万歳
③ 「手袋を買いに」の帽子屋が人気の撮影スポットに
② リニューアルされた展示室
① ステージで披露された「子ぎつねたちのおじり」

◇ 新美南吉生誕百年開幕祭（1月5・6日 記念館）

*

平成25年、新美南吉のふるさと半田市では、新美南吉生誕百年記念事業実行委員会を中心に、様々な団体、企業、行政、学校、そして多くの市民の手でいろいろな記念事業が開催されました。実行委員会や半田市が関わったものを中心に、主な行事や出来事をご紹介します。（一部市外開催を含む）

没後70年 南吉を偲ぶ会

3月22日



⑪



⑬



⑫



⑭



⑦



⑧



⑨



⑩

⑦言葉と音楽で彩る新美南吉の世界「音楽で綴るにんげん・南吉」NHK名古屋放送局・半田市他 ※ラジオ「ゆきねえの名古屋なごやか喫茶」公開録音（2月22日 アイプラザ半田）

○言葉と音楽で彩る新美南吉の世界「言葉で巡るお話しいろいろ」NHK名古屋放送局・半田市他 ※ラジオ「東海・北陸文学紀行」公開録音（2月23日 同会場）

⑧リニューアルオープン後、二か月足らずで全都道府県からの来館達成（2月26日 記念館）

⑨「五木寛之講演会〜青い鳥のゆくえ〜」南吉顕彰会・半田市・中日新聞社他（3月24日 雁ホ）

⑩半田口駅が愛称「ごんぎつねの駅」に（3月末）

⑪命日に岩滑の光蓮寺で没後70年法要。その後、北谷墓地で墓参り（3月22日）

◇「没後70年南吉を偲ぶ会〜花・美しいものを愛する心〜」⑫献花 ⑬石田音人さんの胡弓演奏 ⑭岩滑小児童の群読「こぞうさんのおきよう」（同 岩滑小）

⑮「南吉さんの端午の節句」（5月3日〜5日 記念館）



新美南吉 生誕祭

7月27日～8月4日



①「あつまろう! たのしもう! みんなの南吉童話」ごんぎつねの会他(5月19日 雁ホ)

②日本郵便から半田市へ「新美南吉生誕百年記念オリジナルフレーム切手」を贈呈(6月20日 市役所)

③「南吉さんのほたる祭」半田ほたるのまちおこし推進室(7月7日 記念館)

○造幣局から半田市へ貨幣セット「手ぶくろを買いに」を贈呈(7月11日 市役所)

④「南吉探訪スタンプラリー」のPRで安城市長来館(7月15日 記念館)

⑤絵本作家・黒井健さんから南吉のふるさとを描いた絵画2点受け渡し(7月16日 市役所)

⑥来館者に大人気だった竹の「ごん吉くん」JFEスチール有志・板山竹炭研究会(1月～5月 記念館)

◇「新美南吉生誕祭」開幕行事 ⑦市長から遺族へ新美南吉名誉市民章贈呈式

⑧「ことばの杜朗読会」第一部・児童と市民らによる「ごんぎつね」の朗読 ⑨同第二部・元NHKアナウンサーによる朗読(7月27日 雁ホ)



新美南吉生誕祭

誕生日式典 7月30日



- ②⑤ 南吉童話絵本原画展（7月20日～8月4日 雁ホ）
 ②⑥ 半田市文化協会作品展「南吉の心をつなぐ」
 ②⑦ 半田市幼保小中南吉学習作品展示（7月27日～8月4日 雁ホ）
 ②⑧ ウナギのつかみどりごんぎつねの会（7月28日 矢勝川）
 ②⑨ 「市民音楽祭」半田市合唱協会・半田市民管弦楽団他（同日 雁ホ）
 ③⑩ 「百歳誕生日式典」で花のバスデーケーキに献花
 ③⑪ 「著作権継承者名義移譲式」新美南吉の会・半田市（7月30日 記念館）
 ③⑫ 「朗読のあるシンポジウム 南吉童話の声」声が広げる世界、声が結ぶ絆」（8月3日 雁ホ）
 ③⑬ 「南吉の愛したクラシック音楽」詩の朗読と共に「協力・中京テレビ」（8月4日 雁ホ）
 ③⑭ 前進座公演「花木村月夜奇妙」（8月17日 雁ホ）
 ③⑮ 「日中韓子ども童話交流2013」で、岩滑小学校児童が日中韓三か国の子どもたちを案内（8月17日～23日 東京都・半田市他）
 ③⑯ 「半田ふるさと検定・新



- 美南吉編「商工会議所」(8月25日 商工会議所他)
- ③⑦「キッズワークフェスティバル2013」 in 南吉のふるさと半田「商工会議所創立120周年記念事業実行委員会他」(7月22日～8月25日 市内各所)
- ③⑧絵本作家・長野ヒデ子氏による講演会「南吉と私」(絵本の力と紙芝居の力) 南吉顕彰会他 (9月23日 空の科学館)
- ③⑨「南吉へのメッセージ」100年のときを越えて」半田高校(同日 雁ホ)
- ④⑩「市民憲章運動推進第48回全国大会」で半田商業高校演劇部が南吉童話を題材にした劇を上演。俳優竹下景子さんの朗読も。半田市民憲章実践協議会他 (10月5日 雁ホ)
- ④⑪1万個のキャンドルを灯した「キャンドルナイト2013」半田青年会議所 (9月22日 矢勝川周辺)
- ④⑫スタンプリー「ごんの尻尾を追え！」半田ライオンズクラブ他 (10月6日 矢勝川周辺)
- ④⑬合唱オペラ「ごんぎつね」其実行委員会他 (10月12日 雁ホ)

小中学校 南吉ウィーク

11月11日～17日



- ④「ランプの灯りコンサート」商工会議所他（10月12・13日 記念館）
- ④⑤「新美南吉の謎解き宝探し」商工会議所青年部（10月14日 記念館・岩滑地区）
- ◇「南吉つあんの山車揃え」／童話「狐」の世界／（46）特設舞台で「狐」を朗読
- ④⑦記念館に勢揃いした4輛の山車 ④⑧盛大に花火も
- 生誕百年記念山車揃え協議会他（10月19日 記念館・岩滑地区・岩滑新田地区）
- 平成25年度愛知県子ども読書活動推進大会「童話と子ども読書」愛知県教育委員会他（11月9日 雁ホ）
- ◇市内小中学校南吉ウィーク（11月11日～17日） ④⑨
- 半田中、⑤⑩亀崎小、⑤⑪花園小、⑤⑫半田小、⑤⑬市内全小学校が参加して音楽劇「手ぶくろを買いに」を合唱した半田市小学校音楽会（11月15日 雁ホ）
- ⑤④新美南吉童話賞・生誕百年記念「幻の童話」部門表彰式（12月14日 記念館）
- 新美南吉生誕百年フィナーレ（12月21日 岩滑小・記念館）
- ※記念館＝新美南吉記念館 雁ホ＝雁宿ホール

- ◆平成25年に半田市が開催した主な記念展示
- 新美南吉記念館「榊原澄香ペーパーアート展」／紙から生まれる南吉童話の世界（1月5日～4月14日）
- ／「私の新美南吉展」（4月27日～6月30日）／特別展「新美南吉とふるさと知多半島」（7月13日～10月27日）／「『でんでんむしのかなしみ』原画展」皇后さまと南吉（11月9日～1月13日）
- 市立博物館「棟方志功を通じたふるさと風景板画展」（6月1日～6月30日）／「『狐』長野ヒデ子絵本原画展」（7月13日～10月20日）
- 市立図書館「南吉童話展」（10月26日～11月10日）
- ※この他、平成24・25年にかけて、全国巡回展を丹波（兵庫）、堺、札幌、名古屋、静岡、安城の6市で開催。
- ◆生誕百年を記念した主な記念碑・オブジェ等
- 陶壁「新美南吉の詩」半田同僚園（平成24年3月10日 半田同僚園）
- 「ごんぎつねスタンドグラス」NTT西日本名古屋支店（平成24年12月26日 記念館）※移設
- スタンドグラス「南吉のふるさと」国際ソロプチミスト半田
- オブジェ「ごんぎつねと六地藏」半田ロータリークラブ（1月5日 記念館）
- 「ひよめのうた」碑 半田拓本研究会（2月26日 住吉神社）
- 陶彫「聖」小西洋平氏（4月2日 記念館）
- 「ごん吉くん」オブジェ JFEスチール知多製造所（7月25日 記念館）
- 「ごんの時計塔」半田ライオンズクラブ（10月6日 記念館）
- 「煙の好きな若君の話」碑 半田市文化協会（11月24日 亀崎海浜緑地）

この他にも、生誕百年記念事業実行委員会が後援した行事や所縁のある安城市での行事など、たくさんの方の記念事業が市内外で行われました。誠にありがとうございました。これからも新美南吉のふるさと半田市は、世界中の南吉ファンと共に、南吉の夢をいつまでもつないでいきます。